

日本平夢テラスの指定管理に係る外部評価委員会の評価結果について

令和4年7月28日
静岡県スポーツ・文化観光部
観光交流局観光政策課

1 評価の趣旨

日本平山頂シンボル施設（愛称：日本平夢テラス）における指定管理者の令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）の管理運営実績を外部有識者により評価し、より適正な管理運営や提供するサービスの向上に繋げていくため、外部評価委員会を実施した。その評価結果は89点（100点満点）であった。詳細は以下のとおりであり、今後の指定管理業務の改善に活用していく。

2 指定管理の概要

(1) 指定管理者

A S C日本平グループ

代表企業 アクティオ株式会社

構成団体 静岡ビル保善株式会社

特定非営利活動法人コンベンション静岡

(2) 指定管理期間

平成30年10月1日から令和5年3月31日まで

3 評価項目と配点

評価項目		1人当たりの 持ち点	計 (5点×5人)
管理運営の基本方針		5点	25点
施設への来訪促進	満足度向上、誘客活動、 ラウンジ運営、自主事業、地域連携	5点	25点
適正な施設管理		5点	25点
安定的な経営管理		5点	25点
昨年度の指摘事項の改善状況		5点	25点
計		25点	125点 ※発表時は 100点満点に換算

5点「非常に優れている」 4点「やや優れている」 3点「標準」

2点「取組の見直しが必要」 1点：根本的な改善が必要（

4 委員

氏名	職名
八木 健祥（委員長）	静岡県公立大学法人 静岡県立大学 大学院 経営情報イノベーション研究科長 教授
久保田 隆	静岡市ホテル旅館協同組合 代表理事
白鳥 三和子	税理士法人 静岡みらい 代表社員
池田 文信	公益財団法人 するが企画観光局 専務理事
中村 泰昌	一般社団法人 静岡県商工会議所連合会 専務理事

5 評価結果

評価項目	評価点	前年度
管理運営の基本方針	24点 / 25点	24点 / 25点
施設の来訪促進	満足度向上、誘客活動、 ラウンジ運営、自主事業、地域連携	21点 / 25点
適正な施設管理	23点 / 25点	22点 / 25点
安定的な経営管理	22点 / 25点	22点 / 25点
昨年度の指摘事項の改善状況	21点 / 25点	22点 / 25点
合 計	111点 /125点	111点 /125点
100点満点換算	89点/100点	89点 /100点

6 委員の主な意見

(1) 管理運営の基本方針について

- ・ 緊急事態宣言や自粛要請がある中でマスコミや来館者への情報発信等も行い、来館者目標を達成したという点については評価している。
- ・ 「ふじのくに安全・安心認証」の取得により、来館者が安心して利用できる環境の提供に努めている点も評価できる。
- ・ 9月頃の緊急事態宣言に伴う休館期間を活用し、再開後に向けた様々な教育活動を実施するなど指定管理者として非常に真摯に取り組んでいることが良く分かった。

(2) 満足度向上について

- ・ ラウンジは席数が少なめなため、外ベンチや回廊でテイクアウトした飲み物を楽しめる工夫などが出来たら良い。
- ・ アンケート調査には季節要因が大きく関わる。富士山が見えやすい・見えづらい時期の満足度など、比較してみしてほしい。
- ・ アンケートではぜひ、定量分析を行ってほしい。(アンケート項目の見直し)
- ・ イベントを1年を通じて、色々と創意工夫して実施している中で、イベントの効果として年間を通じて飽きさせない工夫をして取り組んでほしい。

(3) 誘客活動（広報、営業活動）について

- ・ 多くのマスコミに取り上げられるなど、コロナ禍でも努力していることが評価できる。
- ・ 特にマスコミに関しては掲載料などがかからない良いツールのため、引き続き使ってほしい。
- ・ 他県から誘客は、中部横断自動車道の開通などの好機があるため、山梨県への集中プロモーションを検討してほしい。
- ・ 誘客活動やSNSの活用なども良く取り組んでいる。

(4) 地域連携について

- ・ 周辺の大学とのコラボレーション等を通じた、若い人の眼から見た施設の魅力創出や情報発信は非常に大切だと考えている。今後も継続して取り組んでほしい。
- ・ 来年は「どうする、家康」の放送が控えており、大河ドラマ館や静岡市歴史博物館のオープン等もあることから、歴史等を絡めた誘客活動により取り組んでほしい。